



みんなで守ろう交通ルール 交通事故ゼロのまちを目指して

令和4年の1年間に本市で発生した交通事故の件数は、272件でした。人口1万人あたりの死傷者数としては、佐賀県全体の53.0人に対し90.4人となっており、これは県内ワーストです。

このことから、本市は県内市町と比べて交通事故の多い危険なまちであるといえます。市内には交通量が多く事故発生率の高い場所があり、事故を防ぐためには日頃の交通ルールの遵守や安全確認が欠かせません。

今回は、交通事故多発箇所の紹介や地域の交通安全を支える方にお話を伺いました。

☎防災危機管理課 消防交通係 ☎37-0104



管内での交通事故多発箇所を紹介

①神崎市役所前 交差点



危険ポイント

- ! 横断する歩行者・自転車が多い
- ! 右折レーンがなく、渋滞が起こりやすい

②神埼橋西 交差点



危険ポイント

- ! 登下校中・高生の横断が多い
- ! 交通量が多く、渋滞が起こりやすい

③地蔵橋(ショッピングセンターアニー西)交差点



危険ポイント

- ! 朝夕の交通量が多い
- ! 周辺に施設が複数あり、駐車場から出入りする車にも注意

交通事故をなくすために



安全な通学に貢献できよううれしい

交通指導員
内田 博隆さん

日々子どもたちを危険から守る、交通指導員の内田博隆さん（神埼町莞牟田）にお話を伺いました。

―活動を始めたきっかけは？
約10年前に活動を始めました。地区の方に誘われたのがきっかけで、現在は月2回程度活動を行っています。

―日々の活動のやりがいはい？
子どもたちは、素直でちゃんと止まってくれるし、あいさつも元気よく、とても気持ちがいいです。「ありがとう」が聞こえます」と大声で言われるととても嬉しく、励みになります。また地区の皆さんからも「いつもありがとう」と声をかけていただき、活動のやりがいになっています。



―交通安全のために
交通事故を無くすには、お互いの思いやりが必要です。交通事故が無くなるように関係機関が協力し、幼稚園や保育園などでも交通安全防止のために安全教育を行っています。

―今後の展望を教えてください
朝・夕は交通量も多くなり危険です。体が元気なうちは活動を続け最後まで地域住民の皆さんの安全を守っていきたいです。



運転手は安全確認の徹底を！

神埼警察署 交通課長
鷲崎 文徳さん

地域の交通安全を支える、神埼警察署の鷲崎文徳交通課長にお話を伺いました。

―管内の交通事故、交通違反の特徴は？
令和5年1月～10月の間に人身事故が207件、物損事故が1,047件発生しています。追突事故や国道での事故が半数以上を占めており、脇見や考え事などで前をよく見ていなかったことなどが主な原因です。また、通学・通勤時間帯の朝夕に多発しています。

―冬における交通事故を防ぐためのポイントは？
冬は交通量が多くなるため、交通事故の件数も増加傾向にあります。日没時間

が早くなるため、早めにライトを点けましょう。また、忘年会などで飲酒運転等も多発します。まずは飲酒の場に車で乗っていかないことが重要です。なるべく公共交通機関などを利用するようにしましょう。

―市民のみなさんにメッセージをお願いします。
事故の多くはちよつとした不注意で起きています。ドライバーは前をよく見て、安全確認の徹底をしてください。また、歩行者や自転車は、夜間は反射材を着用するなどドライバーに気づいてもらうことが重要です。近年、高齢ドライバーによる事故も多発しています。運転に不安を感じたらまずは、署にご相談ください。

神埼警察署からのお知らせ ニセ電話詐欺に注意!!

全国的にニセ電話詐欺の被害が後を絶ちません。

県内では、令和5年9月末現在で100件を超える被害があり、被害額は約4億円以上にも上ります。内訳は架空料金請求が最も多く、パソコンのウイルス感染によるサポートやインターネットの未納料金を名目に、コンビニで電子ギフト券を買わせ、番号を送信させる手口が多いです。

「私はだまされない、関係ない」「自分は被害に遭わない」と思っていませんか？いつ誰が詐欺の被害に遭うかわかりません。ニセ電話詐欺に対して常に危機意識を持つことが大切です。

日頃から家族や周囲とのつながりを密にして、被害に遭わないようにしましょう！



10/17

脊振小・中学校とフランスとの交流再開 児童・生徒のおもてなしに笑顔

フランス・ボークール市からの訪日団を、脊振小・中学校の児童・生徒が温かくお迎えしました。

脊振中では一緒に給食を食べた後、書道と折り紙体験が行われ、楽しそうに交流する姿が見られました。

また、歓迎交流会では脊振小の児童が歌を、脊振中の生徒がソーランを披露するなどして親睦を深めました。

平成28年以来、およそ7年ぶりとなる交流でしたが、児童・生徒の心のコもったおもてなしに会場は笑顔があふれ、和やかな雰囲気になっていました。



10/21

美しい日本語暗唱・朗読大会 児童35人が美しい日本語を披露

日本語の素晴らしさに気付いてもらうことを目的とした第20回美しい日本語暗唱・朗読大会がはんぎーホールで開催され、市内の小学校から代表35人が参加しました。

真剣な表情で一生懸命に発表する児童の姿と美しい日本語の響きにより、会場は感動に包まれました。

暗唱の部は原口陽一郎さん（千代田中部小4年 = 写真左）、朗読の部は石松朔空さん（仁比山小5年 = 同右）が最優秀賞に選ばれました。



10/22

4年ぶりに本格再開 神崎市子どもまつり にぎわう

第23回神崎市子どもまつりが中央公民館周辺で開かれ、多数の親子連れが多彩なイベントで秋の休日を楽しみました。

コロナ禍を経て4年ぶりの本格再開となり、子どもたちは初企画のバルーン係留体験をはじめ、スケートボード教室やライブペインティング、ぶよぶよeスポーツなどに元気に挑戦。スライム作りやヨーヨーつり、段ボール迷路なども人気を集めました。

会場周辺にはポップコーンや綿菓子などのお店が並び、子どもたちの笑顔と歓声があふれていました。



10/27

仁比山保育園で芋掘り体験 大きなサツマイモに歓声

仁比山保育園の園児が、近くの畑で芋掘りを体験しました。このサツマイモは有限会社アグリベースにいやま（神埼町石井ヶ里）の協力により6月に園児が苗を植え、同社が管理・栽培したものです。

この日は祖父母参観日。園児は同社の担当者から説明を受けた後、祖父母から「ここを掘ってみて」と教えてもらいながらシャベルや手で土をかき分けました。サツマイモが姿を現すと園児からは「大きくて重い」「いっぱい採れた」と歓声が上がりました。

たくさん採れたサツマイモに笑顔いっぱいの芋掘りとなりました。



11/12 じろっこマルシェ 親子1,300人 多彩な催し楽しむ

千代田町境原のサールナートこども園を会場に、じろっこマルシェが行われ、市内外から1,300人が来場してパン作り、射的ゲーム、手形アートなどのイベントを楽しみました。おむつ替えや授乳設備が整っている施設での開催とあって、赤ちゃん連れのファミリーに大好評でした。

マルシェは、園の保護者らが実行委員会（田中伸一郎会長）を立ち上げ2回目の開催。副会長の松藤法実さんは「乳幼児を抱えているファミリーが気軽に参加でき、乳幼児から小学生までの子どもが楽しめるイベントを行いたいと計画した」と話しました。



11/13-14 旅行電子雑誌「旅色」で神崎市特集 松井玲奈さんが市の魅力を紹介！

旅行電子雑誌「旅色」の撮影が市内各所で行われました。ナビゲーターを務めたのは、現在ドラマなどでも活躍されている女優の松井玲奈さん。

松井さんは櫛田宮や仁比山神社などを訪れたほか、尾崎人形の絵付けを体験し、旅を満喫しました。

松井さんが市の魅力を紹介する記事は12月25日に「旅色」のホームページで公開予定です。ぜひご覧ください。



▲旅色のホームページはこちら



10/29 2023SPIRAさが国際フェスタ ステージやグルメで盛況

2023SPIRAさが国際フェスタが市役所駐車場で開かれ、多くの家族連れや県内在住の外国人などが訪れ、国際色豊かな雰囲気でのびのびしました。

会場には台湾、中国、ウクライナなど世界各国のグルメや国際交流のブースが多数並び、来場者は思い思いに食

事や体験を楽しみました。特設ステージでは神埼小金管バンドの演奏、民族舞踊の披露があり、来場者も一緒に踊り交流を深めたほか、トヨタ紡織九州レッドトルネードSAGAの田中圭選手が欧州での経験を語るトークショーも行われました。

また、市役所内では子ども英会話教室や、市とボークール市との交流展示もあり、最後は航空券や市の特産品が当たる抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

